
開講科目名：情報法研究 （2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：萩原 聡央

《授業の概要》

【授業の概要】

この講義では、IT政策、情報公開、個人情報保護、放送・通信の自由、インターネットの自由と情報セキュリティ、情報倫理と自主規制などの各テーマ（下記1回～15回の内容を参照）について考察を行い、情報法制の役割や意義そして課題について検討する。

第1回 ガイダンス・ユビキタスネット社会の課題と情報法

第2回 表現の自由の意義・歴史と理論

第3回 情報公開と知る権利

第4回 個人情報の保護と自己情報コントロール権

第5回 情報の自由と著作権

第6回 報道・取材の自由と情報源秘匿

第7回 プレスの内部的自由と編集権

第8回 名誉毀損・プライバシー侵害

第9回 差別的表現の規制

第10回 性表現の自由と規制

第11回 広告の自由と規制

第12回 放送・通信の自由と規制

第13回 インターネットの自由と情報セキュリティ

第14回 メディアの集中・系列化とアクセス権・反論権

第15回 情報法における法と倫理（自主規制）・まとめ

【評価方法】

授業における報告および討論への参加状況（40％）ならびにレポート（60％）の結果により評価する。

《テキスト》

宍戸常寿編著『新・判例ハンドブック「情報法」』（日本評論社、2018年）

《参考書》

松井修視編『レクチャー情報法』（法律文化社、2012年）

その他、適宜指示します。